

令和3年度 水道・下水道事業会計の決算

いつでも安全で安心して利用できる
強靱な上下水道を目指して

決算は9月5日から開会の市議会定例会で審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課(市庁舎水道棟2階、☎65・4212)



帯広市上下水道部キャラクター
ミナモくん

水道事業会計の決算

おいしい水道水を
安定供給するための収支

収益的収支における収入は45億4549万円(前年度比5.2%減)、支出は38億8308万円(同2.3%減)です。減価償却費※の減少などにより、収益的収支は6億6241万円(同19.2%減)の黒字となりました。今後の借入金返済や施設の更新などに使用する予定です。

水道施設や水道管を
整備するための収支

資本的収支における収入は7億9521万円(同66.1%増)、支出は30億8588万円(同17.3%増)です。収入の不足は施設を更新するために備えていた財源で補てんしました。

下水道事業会計の決算

汚れた水を集めて
きれいにするための収支

※減価償却費
施設が古くなり価値が減った分を費用として換算したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わず、施設の更新に備える財源としています。

収益的収支における収入は52億602万円(前年度比1.2%増)、支出は43億8338万円(同1.2%減)です。借入金利息の減少などにより、収益的収支は8億2264万円(同16.3%増)の黒字となりました。今後の借入金返済や施設の更新などに使用する予定です。

終末処理場や下水道管を
整備するための収支

資本的収支における収入は12億3383万円(同31.9%増)、支出は32億74万円(同16.0%増)です。収入の不足は施設を更新するために備えていた財源で補てんしました。

これからの水道・下水道

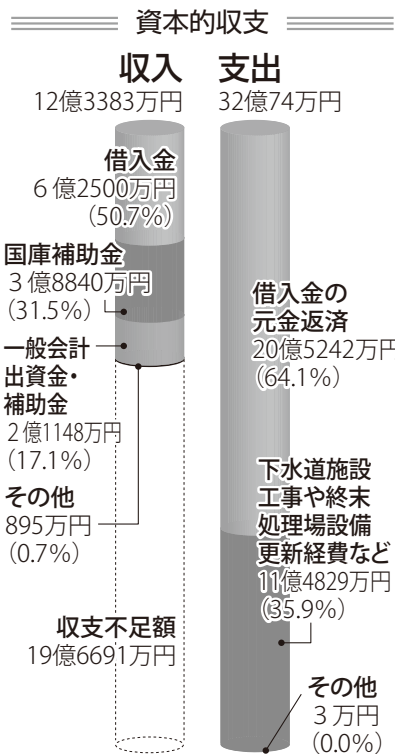
令和3年度の決算は、水道事業会計、下水道事業会計ともに純利益を確保するなど、健全経営を維持できました。

しかし、今後は人口が減少し水道料金・下水道使用料収入の減少が見込まれる一方、多くの老朽化した施設などの更新が必要となります。

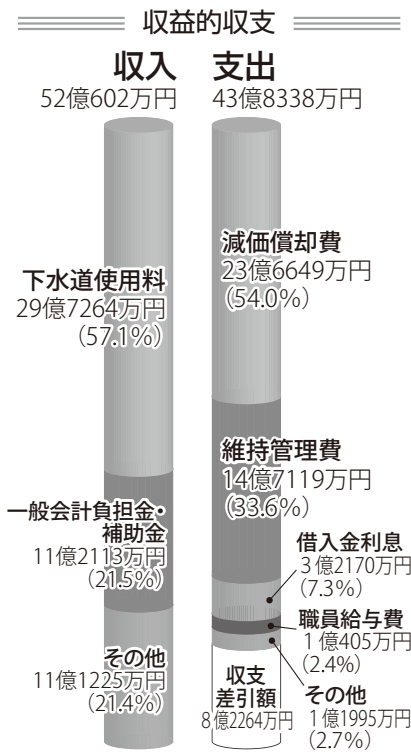
帯広市では、長期的に健全かつ安定した経営を持続するため、「おびひろ上下水道ビジョン2020-2029」の具体的な取り組みの推進に向けて、令和4年9月に「おびひろ上下水道事業経営改善プラン」を策定しました。

今後も、生活に必要な上下水道サービスを提供し続けるため、中長期的な視点に立ち、上下水道ビジョンや経営改善プランの取り組みを進め、経営の効率化により健全な企業経営を維持するとともに、計画的な施設の更新や、災害に強い施設づくりなどを行っていきます。

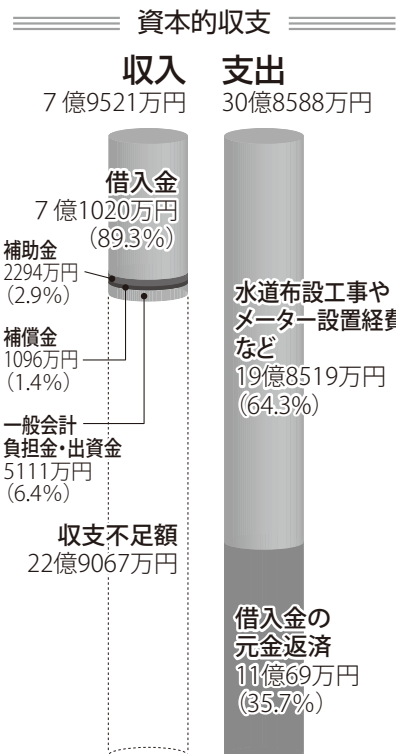
終末処理場や下水道管を整備、更新するための収入と支出



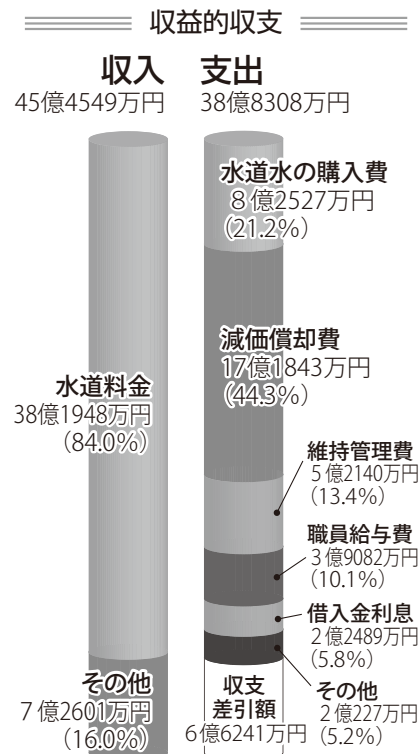
汚れた水を集めて きれいにするための収入と支出



水道施設や水道管を整備、更新するための収入と支出



水道水を供給するための 収入と支出



下水道事業会計の主な取り組み

- ▶ 新たな下水道管の整備や老朽化した下水道管の更新
- ▶ 十勝川流域下水道事業への汚水処理統合に向けた帯広川下水終末処理場の施設改修
- ▶ 浸水被害があった地域を優先した雨水管整備
- ▶ 合併処理浄化槽の設置
- ▶ キャッシュレス決済の導入 ーなど



雨水管の整備

水道事業会計の主な取り組み

- ▶ ホームページのリニューアル
- ▶ 新たな水道管の整備や老朽化した水道管の更新
- ▶ 緊急貯水槽の新設に向けた実施設計
- ▶ 稲田浄水場の設備機器の更新(令和2~3年度)
- ▶ 災害などに備えた備蓄資器材などの充実
- ▶ キャッシュレス決済の導入 ーなど



令和3年度に整備した漏水調査研修施設での研修風景

水道事業会計・下水道事業会計の収支は消費税を含みます。

上下水道料金のお支払いは口座振替で 上下水道料金の支払いは、自動的に引き落とされることで支払い忘れがない口座振替が便利です。詳細は問い合わせください。 問 上下水道部料金課(市庁舎水道棟1階、☎65・4213)